

令和元年度シラバス

科目	書道 I	学年・類型	1年・共通	単位数	2単位
	教科書	書道 I (東京書籍)			
	副教材等				
学習目標	「表現」の分野では、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三つの分野の各古典の名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。「鑑賞」の分野では、現代の書道の基となった中国の流れを学び、それぞれの時代の特徴を理解します。「創作」の分野では、用具、用材によって異なる表現効果から得られることを理解し、簡単な漢字仮名交じりの書を、創作できるようにします。				
学習心得	書道の学習においてはよく見ることが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典の書美について直感的に把握し、素直な気持ちで鑑賞しましょう。技法の習得は主として古典の臨書によりますが、一枚一枚、一字一字について自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身に付けましょう。				
評価方法	各学期の評価は、提出作品、自己評価の記録状況を中心に用具・用材の扱いを含めた学習活動への参加の態度なども含めて総合的に行います。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。				
	単元(予定時数・実施時数)	主な学習活動			
一学期	1 書写から書道へ 2 楷書の学習 (1) 楷書の用筆法・結構法 (2) 実用書 (3) 九成宮醜泉銘の鑑賞と臨書 (4) 孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 (5) 雁塔聖教序の鑑賞と臨書 (6) 自書告身の鑑賞と臨書 (7) 牛欄造像記の鑑賞と臨書 (24・)	<ul style="list-style-type: none"> 書の特徴を理解し、書美の要素について学びます。 選択した題材により、自己を主体的に表現するための技能の基礎を理解します。 唐の時代に活躍した作者や代表的な古典を学習します。各古典の書美について学び、表現技法を身に付けることができますようにします。 古典の持つ伝統的な美を感受し、字形・全体の構成などを工夫して臨書します。 			
二学期	3 行書の学習 (1) 行書の特徴 (2) 蘭亭序の鑑賞と臨書 (3) 風信帖の鑑賞と臨書 4 隸書の学習 (1) 隸書の特徴 (2) 曹全碑の鑑賞と臨書 5 篆書の学習 (1) 篆書の特徴 (2) 泰山刻石の鑑賞と臨書 6 篆刻の学習 (1) 篆刻の手順 (2) 選文・検字 (3) 運刀 (4) 補刀 7 仮名の書の学習 (1) 仮名の成立と発達 (2) 基本的な筆使い (26・)	<ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴について理解します。 代表的な行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等を理解します。 各古典の基本的な特徴を把握することにより、多様な行書の用筆法を習得します。 隸書の特徴について理解します。 隸書の基本的な用筆、運筆、結構を習得し、その特徴を理解します。 篆書の特徴について理解します。 篆書の基本的な用筆、運筆、結構を習得し、その特徴を理解します。 篆刻の歴史や、篆刻が書表現の一つであることを理解します。 印を作り上げるまでの手順と、印を彫るときにの刀法を理解し、自分の印を制作します。 我が国独自の文字である仮名について成立過程と字源について理解します。 平仮名の筆使いに慣れ基本的な用筆法を習得します。 			
三学期	(3) 変体仮名 (4) 連綿 (5) 蓬萊切の鑑賞と臨書 (6) 高野切第三種の鑑賞と臨書 8 漢字仮名交じりの書の学習 (1) 作品制作 (2) 鑑賞 (20・)	<ul style="list-style-type: none"> 変体仮名について理解し、その書法を学びます。 連綿の種類・方法について理解し、仮名の書美を味わいながら鑑賞できるようにします。 名筆を通して、単体、連綿と全体構成など、日本の伝統的な書の美を理解し、仮名の表現の基本的な用筆、運筆について学習します。 漢字と仮名の表現上の特徴を理解し、創造的な表現のために漢字と仮名を調和させる技能を習得します。 作品を互いに鑑賞し文章にまとめ発表します。 			